

輝かしい1年のスタート

協働のまちづくりで笑顔あふれる「庄原市」へ

新年あけましておめでとうございます。

市民の皆さまには、健やかに新春をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。また、日頃より市議会に対し格段のご理解とご支援を賜るとともに、貴重なご意見をいただき、改めて厚くお礼申し上げます。

昨年は、国政においては、混乱と停滞により国民の政治不信が深まる中、年末には衆議院議員総選挙が行われ、新たなかたちでの政治が始まろうとしています。一日も早く本筋での議論がなされ、国民生活の安定につながることを強く望むものです。

本市では、合併8年目の春を迎えようとする今日、少子高齢化という最大の課題を克服しなければならない状況にあって、各種施策の実施に併せ自治振興区を中心とする協働のまちづくりが着実に進展し、まちはみんなで作るという意識のもと、地域が『共助の社会』へと大きく動き出し、市の姿が変わりつつあることを実感しています。

市議会におきましても、市民の負託に的確に応えるため、議長就任以来『成長する議会』をスローガンに掲げ、議会の活性化に努めています。

市議会基本条例の制定に始まり、議会報告会・議会改革懇談会の開催や議案審議における賛否状況の公開、さらには議員定数の削減、政務活動費制度の検討など、着実にその取り組みを進めています。議会報告会などでは厳しいご意見をいただくこともございますが、しっかり勉強しがんばれ、という温かい励ましの言葉も頂戴しています。

本年4月には、市議会は改選期を迎えます。議員それぞれに志新たに心一つにして、懸命に努力する覚悟です。今後とも協働の精神でまちづくりを進めるため、市民の皆さまには積極的に市政に参加くださいますようお願いいたします。

新たな年を迎え、市議会に対しまして一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げますとともに、皆さまにとってこの一年が笑顔あふれる年となりますよう、心より祈念申し上げます、新年のあいさつとさせていただきます。

美しい日本のふるさと「庄原市」の実現を

新年あけましておめでとうございます。

市民の皆さまには、輝かしい新春を健やかに迎えることと、心からお慶び申し上げます。

また、平素から市政に対し、ご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、本年は庄原保育所、高野保育所、とうじょう自治総合センターが春までに竣工する予定で、庄原小学校、庄原中学校、東城小学校の改築、耐震化も着実に進んでいます。

また、休日診療センターの整備や庄原市赤十字病院二期棟もこの春竣工が予定されており、施設機能と医療体制の充実が図られます。

さらに、平成26年度全線開通を目標に建設中の中国横断自動車道尾道松江線は、三次JCTから吉田掛合IC区間の供用開始、高野ICに接続する「道の駅たかの」の完成も間近に控え、みんなが長年抱いていた夢や希望、期待が、大きな形になる記念すべき年になります。

平成14年12月に旧庄原市の市長に就任して以来、合併を挟み10年が経過しました。その間、お互いが支え合い、助け合って共に生きることを、まちづくりの基本理念として取り組み、とりわけ合併後は「一体感の醸成」と「一体的な発展」に渾身の努力を傾注してまいりました。また、「自らの町は自ら守り、自ら創る」の理念のもと、市民の皆さんと一体となった協働のまちづくりを進めるため、その礎となる自治振興区の育成、活動支援に力を尽くしてまいりました。昨年4月にはこれらの理念が「まちづくり基本条例」として明文化され、さらなる協働のまちづくりが進むものと期待しています。

これまで、多くの課題に直面しながらも市政を運営できましたことは、市民の皆さんのご理解とご支援の賜物と深く感謝いたします。

残された任期を、市民の皆さんが幸せを感じ、夢と誇りをもって「美しい日本のふるさと」と呼べる庄原市の実現へ向け、全力で取り組んでまいります。

最後に、この一年が市民の皆さまにとって幸多き年となりますことを心から祈念し、新年のごあいさつといたします。

庄原市議会議長
竹内光義



庄原市長
滝口季彦

